

協働のまちづくりネットワークみどり環境Group
「みよしグリーンサポート隊」活動シート No.123

- 1 日時 令和4年1月16日(日曜日) 9:00~12:00
- 2 活動場所 トラスト14号地(県有地) D地区
- 3 集合場所 役場運動グラウンド東(緑地公園前)
- 4 活動目的 明るく安全な景観林に
- 5 活動内容 落ち葉堆肥で良い畑土壌をつくる
- 6 作業レベル 初級
- 7 担当世話役 原
- 8 道具 のぼり旗、ヘルメット、マスク、手袋、熊手、運搬用ブルーシート、運搬車、救急箱
- 9 荒天対応 急な雨、又は強風のときは、中断・中止とします
- 10 トイレ着替 芝生公園又は弓道場トイレ

タイムスケジュール

- 8:30 受付
8:50 世話役・関係者打ち合わせ
9:00 集合
9:05 開会、出欠確認、作業説明ほか
ストレッチ
9:15 作業開始(適宜休憩)
11:30 作業終了・用具確認
11:40 終了

作業内容

落ち葉掃き

「正木体験農園落葉掃き会」にご協力いただきます。

- ・できるだけ小枝や笹などが混ざらないように熊手で落ち葉を集めて集積してください。
- ・集積された落ち葉をブルーシートに載せて堆肥場へ運んでください。
- ・堆肥場に運んだ落ち葉を踏んで沢山落ち葉を堆肥場におけるようにしてください。
- ・適宜、休憩タイムを取り腰を伸ばしてください。

新型コロナウイルスの感染対策

- ・マスクを着用しましょう
- ・発熱などの風邪症状がある方は活動を見合わせ自宅で待機してください。
- ・密集しないよう人と人との距離をとりましょう。(社会的距離の確保 2m以上)
- ・密接した会話は避けましょう。避けられない場合は十分な距離をとりましょう。
- ・手洗いや手指の消毒を徹底しましょう。
- ・手の触れる場所の消毒をしましょう。

感染が再拡大しております。感染対策をしっかりとって新型コロナに負けない地域社会を取り戻しましょう!!

かつては「農用林」であり、「経済林」だったが、今や「非農用林」、「非経済林」に

○三芳町の平地林(ヤマ)は、開拓のときナラやクヌギを植え15~20年サイクルで伐採更新を繰り返して手入れをしてきた人工林であった。

○ヤマは、畑作地帯にとって欠かせない堆肥の元となる落ち葉の供給と、昭和30年代後半に電気製品や家庭ガスなどが普及するまでは生活に必要な燃料源として薪の供給源であった。

○薪づくりはヤマの所有者が自ら行うのではなく、山師や木切りと呼ばれた職業集団により行なわれていた。ヤマの所有者は木を販売することで貴重な現金収入を得ることが出来た。

○山師とは、薪として切り出せそうなヤマの持ち主と交渉して、ヤマの木を薪に仕上げて売り捌く職業であり、木切り(特利)とは、山師の取引したヤマに入って 伐木に携わる技術職人でありこの薪づくり作業は冬場の農閑期に行われた。

○三芳付近において、山師は上富で三軒、北永井で二軒、藤久保で一軒、竹間沢で二軒が知られる。また所沢や新座、富士見からも山師がヤマの木を買いに三芳に出向いて来ていた。
以上は、「みよし歴史探訪」より抜粋

次回活動

- 日時 令和4年3月13日(日)
(※第2日曜日となります)
午前9時~正午頃まで
場所 トラスト私有地A地区、県有地C地区
内容 林内整備
(2月の活動はお休みです)